

1988 (毎月1回) (発行)

4月号

(村の面積)

332.60km²

発行所 福井県大野郡和泉村

広報 いずみ

(昭和63年4月1日現在)

村の人口	
総人口	939人
男	474人
女	465人
出生	3人
死亡	0人
転入	5人
転出	15人
世帯数	298世帯



九頭竜川は太公望でいっぱい!

10日、九頭竜川と大納川の谷戸口附近全長7.5kmで第1回 中日新聞社杯争奪奥越溪流釣り大会が開かれました。

この日、会場には中京方面などから約800人の太公望が訪れ、九頭竜川は久しぶりににぎわいました。

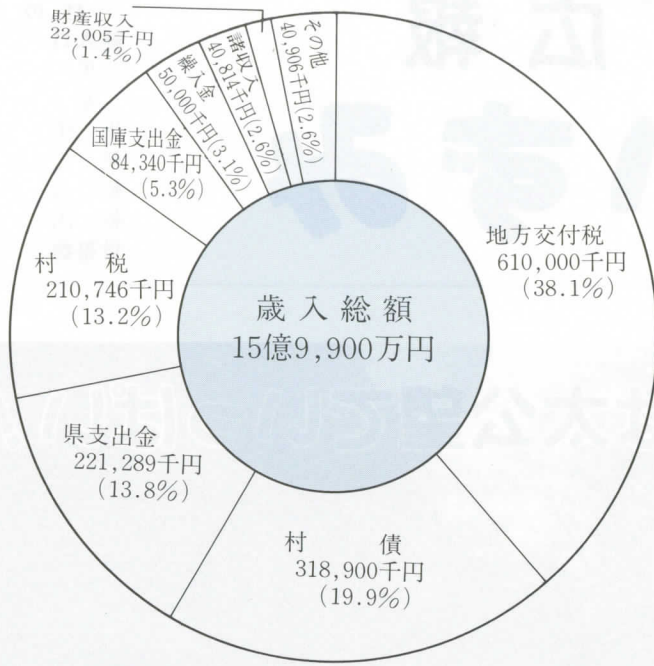
みんなで越美北線を利用しよう

六十三年度予算 総額十九億二千三百三十五万九千円 一般会計 十五億九千九百万円

三月十四日から十八日まで開かれた村議会三月定例会で六十三年度の各会計予算が決まりました。一般会計十五億

九千九百万円、診療所会計などを含めた六特別会計に三億二千四百三十五万九千円で、前年度に比べて一般会計は、

三・六パーセントの増、特別会計では三十一パーセントの減になっています。



◆ 主な事業 ◆

農林水産関係

六年目を迎えた新林業構造改善事業は、林道越戸線の開設が完了したため、かねてから要望のありました林道春木谷線、総延長二千メートルを計画いたしました。本年度は四千万円を計上。加えて林道及び作業道等の維持管理に資するためのトラクターの購入をはじめ造林施設の整備等合計で五千五百九十三万円を計画しました。

また、林道の改良と維持関係事業に一千七百五十五万円を計上いたしました。林道網の整備促進と集落からの要望に対応します。

農林業を中心として三カ年計画でスタートした過疎地域村おこし事業は、最終年度となりましたが、九頭竜湖駅周辺の修景工事に四千五百万円の特産物開発促進のため、農地整備二畝の造成とかん水装置などに四千四百七十七万円、花の丘と水芭蕉公園に二千三十二万円を計画いたしました。環境の整備と特産物開発の基盤整備を図ります。

生活環境関係

森林組合を通して側面的に林業を推進するため、森林地域活性化事業、集団化施設促進事業、良質材生産推進事業などの補助金として七百五十八万円を計上するとともに村有林保育事業につきましても、九十七畝、四百九十九万四千円を実施します。

農業関係ですが、債務負担行為でお願いしております上大納地区集会所の完成を急ぐとともに、営農飲雑用水の整備を図るため、農村基盤総合整備事業で四千四百万円を計上いたしました。

農業排水事業や土砂崩壊防止事業と維持工事に二千六百四十六万二千円を計画するとともに、第三期山振対策事業

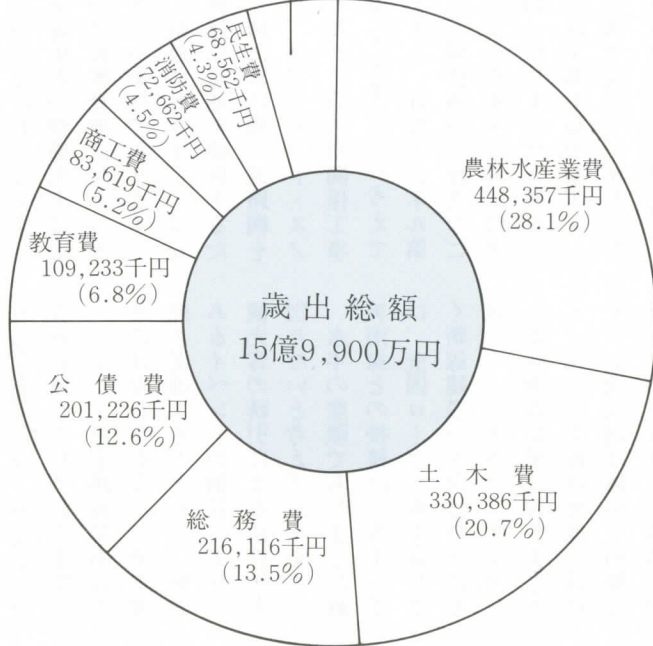
で三千二百二十万円を計上いたしました。九頭竜湖駅周辺における農林水産物の販売を兼ねた広場の整備をするなど、一連の振興事業を推進することとし、産業の振興と地域活性化に努力する考えです。

リゾート計画につきまして重点整備地域のうち、仮称和泉スキー場の早期完成を促進するため、村道蛇鏡線の改良整備に着手することとし、本年度二億六千七百九十万円を計上いたしました。本事業は地域の活性化、定住化のために重要な事業でありまして、官民共同で実施する原則に立つて、三カ年で完成を急ぐものであります。

また、村道の改良と維持工事を進めるために二千三百五十五万円、集落周辺の河川整備に一千万円を計画いたしました。地区要望の道路維持と水害の未然防止に資することといたしました。

火災及び救急業務につきましましては、大野地区消防組合のご理解により分遣所職員六名

災害復旧費	2,090千円(0.1%)
労働費	1,157千円(0.1%)
諸出金	10千円
民生費	68,303千円(4.3%)
消防費	72,062千円(4.5%)
商工費	83,619千円(5.2%)
教育費	109,233千円(6.8%)
公債費	201,226千円(12.6%)
総務費	216,116千円(13.5%)
土木費	330,386千円(20.7%)
農林水産業費	448,357千円(28.1%)
衛生費	35,241千円(2.2%)
社会費	24,678千円(1.5%)
衛生費	5,663千円(0.4%)



体制で対応しておりますが、新年度中には、七名となることとが決定し、かねてより計画しておりました分遣所の建設に踏み切り三千六百万円を計上するとともに、箱ヶ瀬地係に無線前進基地を二百八十三万六千円で整備し、遠隔制御設備の充実と不感地域の解消に努めることといたしました。

教育関係

朝日小学校の校舎は建設以来、補修工事をしないまま現在に至っておりますが、内外壁の塗装が落ち、外見または

をいただき初期の目的を達成いたしております。本年度も八百七十四万二千円を計上いたしまして交通弱者の足確保と住民福祉の向上に資することといたしました。

観光関係

最終事業年度を迎えました天狗岩ファミリーパーク事業に四千百万円、家族旅行村整備事業に一千八百四十万円と関連する森林空間総合利用対策事業に三千四百六万円を計上いたしました。駐車場・炊事棟・薬草木園等の整備を進め、早期完成を目指すものであります。

国民休養地では、六十二年度に整備いたしました第四リフト付近のグレンデが、法面が高く、加えて落石の危険性があるため、防止工事と駐車場舗装工事を含めて三千百万円、三年計画で着手した大型遊具の整備に一千万円を計上いたしました。施設の充実と拡大

当面する問題と村づくり

二十一世紀の将来像を構想した和泉村新総合計画では、村の自然条件と特性を生かした観光産業の推進を重要施策として掲げています。

国では、国民の余暇に対するニーズの高まり、経済のサービシ化等の進展、対外経済摩擦の激化など社会的経済的環境の変化に対応して、長期滞在型の総合保養地の整備を図ることとしています。

国民が良効な自然条件と環境条件の中で長期滞在し、スポーツ・教養文化活動等の多様な活動を行なうための総合的な機能を民間事業者の能力を活用しながら整備するものであります。

既にご承知のとおり、村におきましても民間事業者の参画により多角的に進めておりますが、この問題に真剣に取り組む、官民一体となつて総合的な観光を推進し、加えて農林水産業と太いパイプで結びながら地域の振興を図っていききたいと考えています。

商工業者及び住民に対する融資制度

生活安定資金に一千五百万円、商工振興資金に二千万円、住宅資金に四百万円を計上しましたので、金融機関を通じて貸し出しが行われますし、本年度から新規に産業振興資金利子補給制度を実施するため、百二十万円を計上いたしました。最近の不況対策と商工業の振興、住民生活の安定に寄与するよう配慮いたしました。

そのためには、生活環境の整備を急がなければならず、特に交通体系の整備充実が地域社会の振興発展に欠くことのできない条件であります。国、県道におきましては安全で快適な交通を確保するために、特に雪に強い道路網を目標し、スノーセット・スノーシエルダー等雪寒関係工事八カ所を促進したいと考えてありますし、油坂トンネル第一工区も関係各位の絶大なご協力により昨年十一月に供用を開始いたしました。残る二区・三区工事も順次着工し、当初完成予定の七十年を大きく短縮する見込みであります。

奥地産業開発道路も家族旅行村を過ぎ、本年度は三面橋附近まで進む予定でありますし、後野橋本体は、六十三年度中に完成するよう努力したいと考えてあります。さらに朝日・後野間の未整備箇所につきましても、本年度中に完成するよう最善の努力をする所存であります。

次いで越美北線ではありますが地域住民の生活の足であり、加えて観光推進に欠くことのできない重要な路線でありますし、

今までの四往復が八往復となり、過去最大のダイヤ改正が行なわれ運行されております。しかし、赤字路線であることには変わりがなく、乗る運動を促進するとともに、魅力あるイベントの創設により、観光客の誘引による活性化を図りたいと考えております。

永年の悲願でありました越美南線との接続につきましては、全国ローカル線を取りまく新線建設の状況は余りにも厳しく、昨年のコンサルタント委託調査結果におきましても、国の示す輸送密度に達せず、全通問題は極めて困難な状況であります。沿線市町村並びに両県と連絡を密にしなから全通の可能性を探りたいと考えています。

次に産業の振興であります。本村の最大企業でありました中竜鉱山も、最近の円高と市場価格の下落により、採掘中止となりましたことは誠に残念と言わざるを得ません。会社の名称を残し、従業員十数名により観光・特産開発を中心に新生スタートしたことはせめての救いであり、退職者を村内企業で雇用し、特産品の開発に努力されていることも聞き及び、感謝しているところであります。

最終事業年度を迎えた過疎地域村おこし事業は、園芸作物を中心に複合型農業を推進し、地域に適した本物の地場産業を創設する原点に立ってスタートした事業であります。幸いにして、穴馬カブラ・スイートコーン・ジネンジョ等は大手スーパー・県民生協で予想以上の反響があり喜んでいるところです。さらに農地の造成により、栽培面積の拡大を図るとともに、付加価値を高めながら地場産業として定着するよう推進する所存であります。

次に観光面であります。既に整備されている国民休養地を核としながら、前坂家族旅行村・天狗岩ファミリアパークを中心に、紅葉まつりなど四季を通じたイベントを組み合わせ、着実に入込実績を伸ばしております。

昨年完成しました観光物産展示センターは、九頭竜湖駅を併設した総ヒノキ造りのログハウスの建物で、村の顔・シンボルとしてご好評を頂いております。

現在計画を進めていますすりゾートにつきましては、二カ所の重点整備地域を設定し、大規模スキー場と温泉開発として中竜地域の廃鉱を利用した鉱山観光、常に人間の美を追求する健康の里構想を掲げながら、長期滞在型・周年型観光として位置づけたいと考えてありますし、民間事業者と連携し、地場産業と結びつけながら活力ある村づくりを推進する所存であります。

次に教育問題ですが、最近の村内人口の減少に伴ない児童生徒数の減少が著しく、特に大納地区におきましては中竜鉱山の従業員解雇等社会的な要件も加って減少となり、したことは誠に残念であり、教育上憂慮すべき問題となっております。

村づくりは人づくりからと極言する人もありますが、昨今は物が豊富で、実に恵まれた環境の中にありながら、心の豊かさ、自立心、独立性に欠け、依存心のみが強くなっている傾向にあります。

本村のすばらしい大自然の中で、人間性豊かな健康で明るい人づくりをしなければならぬ必要性を痛感し、学校教育の充実と社会教育の強化を図らなければなりません。

以上新年度予算の概要と今後の村づくりについて述べました。

緑を支えるみんなの手 夢を育てる緑の力

第30回 福井県緑化大会

日時：5月12日(木) 午後2時より
午後1時よりアトラクション、2時より式典

主催：福井県 福井県緑化推進委員会 和泉村

場所：朝日前坂「和泉前坂家族旅行村」

行事：1 式典(表彰・決議・その他) 2 記念植樹

63年度の主な事業

(単位：千円)

款	事業名	財 源 内 訳					備 考
		事業費	国県支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
総 務 費	住民生活安定対策事業	15,000			15,000		生活安定資金貸付 30,000
	住宅資金貸付事業	4,000				4,000	2戸分
	越美北線利用促進事業	1,000				1,000	
	村営バス運行事業	8,742	2,526		3,200	3,016	2路線
	村勢要覧作成事業	2,000				2,000	
	事務O・A化推進事業	2,601				2,601	複写機、ワー プ・インク、コンシメーターリース料 1,200
	広域行政推進事業	6,494				6,494	
民 生 費	保育所プール設置事業	2,200				2,200	
衛 生 費	住民健康診査推進事業	1,648				1,648	各種検診
労 働 費	森林労務共済事業	1,076				1,076	
農林水産業費	農村基盤総合整備事業	40,400	26,260	5,100		9,040	集会場・広場・水道・農道
	かんがい排水整備事業	8,538	4,019			4,519	貝皿 188m
	土砂崩壊防止事業	5,454	3,267			2,187	板倉 97m
	農道整備事業	6,970	3,485			3,485	2ヶ所 773m
	三期山振対策事業	32,200	19,320	12,800		80	広場等利用施設
	農業用施設整備事業	5,500	1,050			4,450	
	県単林道改良事業	13,550	4,980	4,300		4,270	2路線舗装
	小規模荒廃地治山事業	2,200	800			1,400	
	森林地域活性化事業	2,132	1,849			283	間伐 34ha
	集団化施策促進事業	3,570	1,530			2,040	作業路 3路線
	良質材生産推進事業	1,793	1,075			718	枝打 15ha
	林業構造改善事業	58,210	36,350			21,860	林道・建設機械・造林施設
	淡水魚放流事業	2,000				2,000	
	特定産業振興対策パイロット事業	1,500				1,500	特産物生産集団化奨励
	家族旅行村整備事業	20,920		18,400		2,520	駐車場・炊事棟 呂多のつえ 各棟
	過疎地域村おこし事業	129,500	42,545	45,000		41,955	北の丘・水芭蕉公園 20,320 駅前整備45,000 特産開発44,170
	森林空間総合利用対策事業	34,900	18,580	14,800		1,520	駐車場・薬草木園ほか
	村有林造林事業	5,094	3,000			2,094	樹木起 30ha 20ha 下枝払 47ha
	温泉開発調査事業	25,000				25,000	ボーリング 300m
	林道維持修繕事業	4,000				4,000	
商 工 費	商工振興資金貸付事業	20,000			20,000		貸付枠 40,000
	産業振興資金利子補給事業	1,200				1,200	
	天狗岩ファミリーパーク整備事業	41,000	20,000	20,000		1,000	
	九頭竜万本桜推進事業	1,000				1,000	
	九頭竜紅葉まつり実施事業	1,550				1,550	
土 木 費	国県道等改良事業負担金	5,000				5,000	
	道路維持修繕事業	6,000				6,000	
	蛇鏡線改良事業	265,000	67,500	191,000		6,500	補助分 450m 単独分 25m
	道路改良事業	17,150	7,500	7,500		2,150	3路線
	橋りょう整備事業	2,925				2,925	設計委託
	河川改修事業	10,300				10,300	
消 防 費	分遣所建設事業	36,000	17,768			18,232	
	消防無線整備事業	2,836				2,836	
教 育 費	朝日小学校改修事業	12,511	4,100			8,411	
災害復旧費	林道災害復旧事業	2,080	1,339			741	野々小屋線
計		872,744	288,843	318,900	38,200	226,801	
特別会計	村営スキー場整備事業	31,000		31,000		0	駐車場舗装 ゲレンデ造成
	国民休養地整備事業	10,000		10,000		0	大型遊具
計		41,000		41,000		0	
そ の 他	宅地分譲事業	9,530					5区画
	墓地分譲事業	1,750					25区画

青年海外協力隊 ネパールでの活動を 終えて

澤崎孝也

(前和泉中教諭)

四日程前、ネパールから一通の手紙が届いた。むこうで私がお世話になっていた家の息子さんからであった。ネパール風に言えば私の弟にあたる人である。村人と作った水道は順調にその機能を果たしているし、学校のトイレも理科室も機能しているようだ。

下宿していた家の家族もみんな元気だということだし、村の様子もそんなに変わっていないらしい。

慣れない職場で毎日バタバタと仕事をしていると、ふとネパールのことが思い出される。

カトマンズへ行くたびに何十回も歩いたあの道、汗をふきながら仰いだ真っ白なヒマラヤ、道のそばにいつも寝転んで草を食べていた水牛の顔、道を歩いていて、すれちがうとき必ず時間を聞いてきた村の人々、学校からの帰り道いつも優しく食べ物すすめてくれたおばさん、そして毎日

おいしい食事を作ってくれた下宿の娘さん(妹)、村の情報を聞かせてくれた下宿の奥さん(お母さん)、私の住んでいた村、ジャルビレの風習や歴史を毎晩のように聞かせてくれた大家さん(お父さん)。

何よりも、私によく懐いてくれたわんぱくでたくましい村の子供達。下宿のそばのタバコ屋の三人姉妹や飯屋の兄弟達、みんな貧しい生活の中でもじつに明るく、家の仕事もよく手伝っていたようだ。

疲れたときや村人とうまくいかなかったときなど、彼らを見ると疲れもへんなこだわりも溶けていくようであった。

彼らのどこまでも澄んだキラキラした瞳と真っ青なネパールの空のような表情はいつも私を励ましてくれたような気がする。

彼らの住んでいる国の将来は、決して明るいとは言えないが、彼らの素晴らしい笑顔だけは受け継がれていくのではないだろうか。

南北問題は、もうよその国の事だと言って無感心ではいられなくなりつつあるし、物の豊かさだけでは本当のゆと

りや豊かさにつながらないことに気がつき始めた我々日本人にとって、途上国の生活はある面において考えさせられることが多いと思われる。

私個人にとっては、ネパールでの経験を今後の生活の中でのように生かしていくかが今後の課題であると思う。



▶放課後生徒達に折り紙を教えている所
右側が澤崎さん ジャルビレ村にて



桜はわが国では平安時代から春の花の代表として親

しまれてきました。和歌や俳句で「花」といえば、桜の花に限られているほどです。

ただし「サクラ」という言葉は、花のほかにもいろいろな意味に使われてきました。たとえば「桜肉」略して「桜」といえば、馬肉のこと。色が桜色だからついた俗称です。

江戸時代の劇場で、頼まれて役者に声をかける見物人が「サクラ」と呼ばれたのは、花見と同様ただで見られたからでした。

露店などで客を装って買うふりをし、他の客の購買欲を誘う業者仲間を「サクラ」というのも、芝居の「サクラ」からきたとされています。

この語源については「作勞」という漢語からとする異説がありました。また、江戸前期の禅僧鉄眼(てつがん)禅師が大蔵経を刊行した時、版木用の桜材が不足したため桜の生木を枯れ木と称して切らせたとから、知らぬふりをして仕事を助けることを「桜を切る」と呼んだのに始まるという別な説がありますが、いささか説得力に欠けるようです。

和泉中学校長に正津正章さん

四月一日付教職員異動

四月一日付で小学校・中学校教職員の異動があり、次のとおり着任されました。

◎和泉中学校

校長 正津 正章(有終南小)

教諭 日下 智良(陽明中)

教諭 気谷 達郎(開成中)

教諭 広部 貴子(陽明中)

養護 妙願 恵子(武生北新庄小)

事務 岡崎富美子(上野庄中)

教諭 嶋田 由美(岬三方小)

◎大納小学校

転入

◎朝日小学校 ()は旧任教諭 林 雅樹(勝山北部中)

◎大納小学校

ピッカピッカの小学一年生14名が入学

今年めでたく小学校に入学した児童は、次のとおりです。

◎朝日小学校(敬称略)

名前	性別	保護者	住所
表 いく美	女	泰郎	朝日
洞口 巨弘	男	一夫	貝皿
西 款嗣	男	二郎	朝日
森尾 翼	男	幸英	板倉
井南 朋恵	女	勝	朝日
村上 恵里佳	女	一得	下山
中村 祐貴子	女	要	朝日
名保田 豪	男	清二	貝皿

大納小学校

谷口 めぐみ	女	利和	上大納
辻 ゆかり	女	善範	上大納
嶋崎 紀子	女	寛昭	上大納
長崎 なつ子	女	伸夫	上大納

63年度 県政広聴員の委嘱

「対話のある県政」のパイプ役を務める県政広聴員に次の方が四月一日付で県から委嘱されました。

(任期は一年間)

県政に対する要望・意見・苦情などがありましたら広聴員にお気軽にご相談ください。

三坂 保司	(上大納 〇七八)
谷口 弘美	(朝日 〇七八)
二二五六一	
二二六一一	

村内異動

◎大納小学校

教頭 中山 悟(村社教主事)

◎和泉中学校

村社教主事

大久保征一(村スポーツ主事)

村スポーツ主事

松田 秀憲 (朝日小)

転出

広瀬 守(和中)大野下庄小へ

森本 弘藏(和中)大野六呂師小へ

63年度 県政フォーラム 推進員の委嘱

来たるべき二十一世紀を担い地域の中核となる青年を対象に、学習や発表の機会を設け、県政への理解と関心を深めることにより青年が県政を考へ積極的に参加する活動を目的として、次の方が四月一日付で委嘱されました。

(任期は一年間)

中屋 克己	(朝日 〇七八)
宮本 美恵	(上大納 〇七八)
二九〇九	

役場職員の一部異動

四月一日付で役場職員の一

沢崎 孝也(和中)武生高へ

南部 泰啓(和中)勝山高へ

前田 吉絵(和中)福井成和中へ

松田 章子(和中)乾側小へ

安川久美子(和中)富田小へ

平林 聡子(朝小)上志比小へ

小松 英一(大小)有終南小へ

幸河喜与美(大小)上庄小へ

退職

講師 山崎 史子(大納小)

部に次のとおり異動がありました。

※住民課 吉岡 和男

※議会事務局 上田 隆澄 森林組合へ

死亡事故ゼロを願うカーブミラー清掃

本村出身者で構成している国道一五八号の大野市境から北陸電力地域従業員の会、第七ブロック(本村出身者四名)では、二日、春の交通安全運動を前に死亡事故ゼロを願う、行いました。

国道一五八号の大野市境から油坂トンネルまでのカーブミラー四十本の清掃とパトライ



三月三十一日付退職

※議会事務局 末永 彦治

※総務課 菊辻日出子

※新産業開発室 高崎 浩道

※建設課 末永 勝士

※新産業開発室 高崎 浩道

※建設課 末永 勝士

あなたも鳥になってみませんか。 パラグライダー会員募集!!



九頭竜スキー場スキーセンターでは7月10日のパラグライダースクール開校をめざし、クラブの発足会を5月3日(火)午前9時より同スキーセンターで開きます。興味のある方全員集合!!
詳しくは同スキーセンターへお問い合わせ下さい。

◎パラグライダーとはスカイダイビング用のパラシュートを、山のスロープから飛び出させるように改良したものの。素材はポリエステルでたためばディバック並みの大きさになる。飛行操作の簡単さもあってヨーロッパではハングライダー人口を抜いて圧倒的人気。

さわやか君

西村 宗



労働保険年度更新について

◎労働保険料の申告納付は5月16日までに

- ・労働保険(雇用保険・労災保険)の保険料の申告納付は4月1日から5月16日までです。
- ・事業主の皆さんは、この期間中に昭和62年度の確定保険料と昭和63年度の概算保険料を申告納付してください。

◎雇用保険料率の変更について

- ・昭和61年度及び昭和62年度の雇用保険料率は0.5/1000引き下げられていましたが、昭和63年度の概算保険料率は原則に戻り、下に示すとおりとなります。
- | | |
|-------------|----------------|
| 一般の事業 |14.5/1000 |
| 農林水産清酒製造の事業 |16.5/1000 |
| 建設の事業 |17.5/1000 |

◎申告納付が遅れますと延滞金等が課されますので、必ず5月16日までに申告納付してください。

問合せ先 商 工 会 ☎78-2104

電線にご注意!!

毎年こののぼりによる
事故が起きています

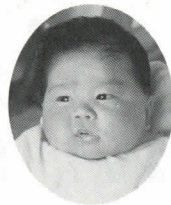


- こののぼりをたてる時は...
- 電線から十分はなれたところにてましょう。
 - 風でたおれないようにしっかりとめましょう。
 - ★最近のこののぼりは、金属製のポール(竿)で、しかも長くなっております。金属製のポールは特に危険ですから注意しましょう。
 - ★近くに電線があり、危険と思われるときなどはよりの営業所にご相談ください。

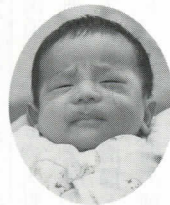
エネルギー上手に使うって明るい未来

北陸電力

智裕くんは五月号で紹介します。



たつや 龍也くん



ゆうじ 裕司くん

山内	智裕	吉男	長男	朝日
谷口	龍也	重信	二男	上大納
刀禰	裕司	利明	長男	上大納
名	前	保護者	続柄	住所
▲あかちゃん				

人のうごき(敬称略)
三月届出分